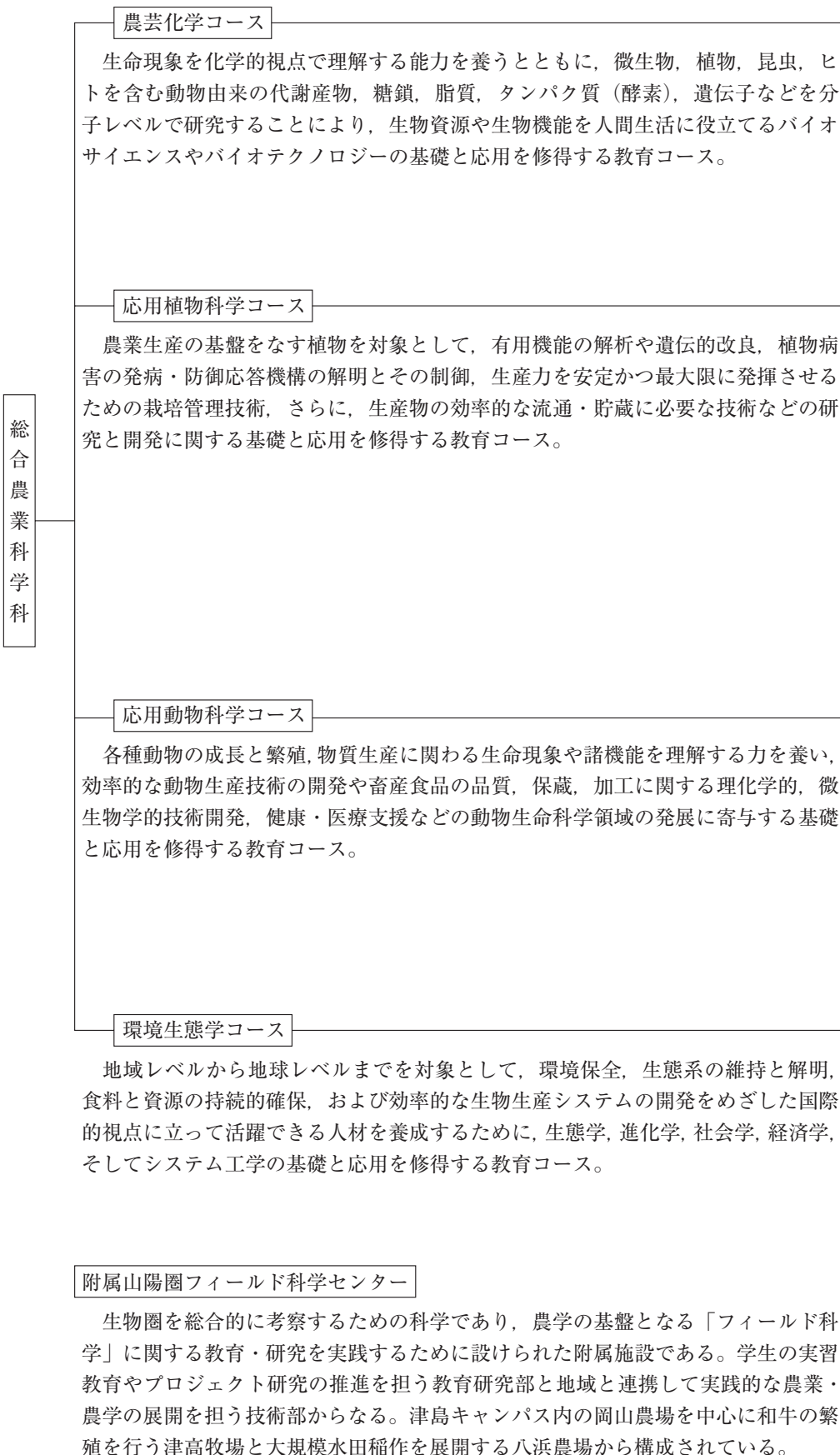


1. 農学部総合農業科学科の各コースの説明



(研究ユニット)

天然物有機化学・・・天然由来の生理活性物質の合成とその有効利用
生理活性化学・・・生理活性物質の探索と細胞・酵素による生産
糖鎖機能化学・・・真核生物における糖鎖機能の生化学的解析と応用
微生物遺伝子化学・・・微生物由来の有用酵素の探索、遺伝子解析と応用
食品生物化学・・・高機能性食品の創製に関する生物化学的研究と応用
生物情報化学・・・植物の環境ストレス応答と情報伝達機構の解明
微生物機能学・・・独立栄養細菌の機能開発および環境適応機構の解明

(研究ユニット)

遺伝子細胞工学・・・植物の発病にかかわる植物と病原体の遺伝子機能の解析と応用
ゲノム遺伝解析学・・・転移因子の動態分析などによる植物ゲノム変異の網羅的解析とその応用
植物病理学・・・植物の感染症とその原理に基づく免疫制御に関する研究
植物遺伝育種学・・・植物の遺伝的多様性に関する分子遺伝学的解析と育種への応用
農産物利用学・・・農産物の収穫後生理と流通・貯蔵技術の開発
農産物生理学・・・農産食品の成熟・老化機構に関する生理学および分子生物学的解析
作物生産技術学・・・生産性の向上と環境保全を前提とした作物生産システムの技術的基礎と応用
果樹園芸学・・・果樹の生理・生態的特性の解明と生産技術の開発
野菜園芸学・・・野菜の生理・生態的特性の解明と生産システム開発
作物開花制御学・・・園芸作物の花成制御と養水分管理の最適化に関する研究
作物学・・・農作物の収量向上・安定および非生物的ストレス耐性の解明

(研究ユニット)

動物生殖生理学・・・哺乳動物の生殖機能に関わる内分泌学的解析とその生殖制御技術開発への応用
動物生殖細胞工学・・・哺乳動物の生殖細胞の発生工学的解析による受精・発生現象の解明
動物生理学・・・有用動物の形態ならびに生理学・薬理学的な性質に基づく生理機構の解明
動物遺伝育種学・・・家畜や実験動物における遺伝機構の解明とその育種法への応用
動物遺伝学・・・動物の有用遺伝子や疾患に関わる遺伝子の解析およびその制御と応用
動物栄養学・・・食品と飼料の生体調節機能の解明とその制御ならびに利用技術の開発
動物応用微生物学・・・ヒトや動物の細菌叢解析と生体影響及びプロバイオティクスの探索と応用
生殖補助医療学・・・ヒト生殖補助医療における高度技術の構築および不妊原因疾患とそのメカニズムの解明

(研究ユニット)

緑地生態学・・・緑地の生態学的特性および緑地植物の生理的特性の解明
森林生態学・・・森林生態系の構造、機能および動態の解明
土壤環境管理学・・・土壌-植物系の物質動態解明による荒廃地緑化
水系保全学・・・水系生態系の生物多様性解析と保全技術の開発
昆虫生態学・・・昆虫の生態解明とその応用的利用
進化生態学・・・生物間相互作用と生物多様性の進化生態学的解明
生物生産システム工学・・・生物生産用機械・施設の開発およびロボット化
食料生産システム管理学・・・食料生産に関する情報処理と経営管理体系の確立
資源管理学・・・地域資源の効率的利用および資源の保全・利用計画の開発

3. 岡山大学農学部履修細則

(趣旨)

第1条 この細則は、岡山大学農学部規程（平成18年岡山大学農学部規程1号）第12条、第17条及び第23条の規定に基づき、岡山大学農学部における教養教育科目と専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法並びに食品衛生法に規定する食品衛生管理者及び食品衛生監視員（以下「衛生管理者等」という。）の資格取得（食品衛生資格取得コース）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(教養教育科目)

第2条 教養教育科目の授業科目及びその単位数は、履修課程表1に掲げるとおりとする。

2 高年次教養教育科目のうち卒業に必要な単位を超えて修得した単位数は、教養教育科目の卒業要件単位数とすることができる。

3 他学部開講の高年次教養教育科目は、卒業要件単位に含めない。

(専門教育科目)

第3条 専門教育科目の授業科目及びその単位数は、履修課程表2に掲げるとおりとする。

(専門教育科目の科目区分)

第4条 専門教育科目の専門基礎科目は、必修科目および選択必修科目に、専門科目は必修科目、コース科目選択必修科目、コース科目自由選択科目に区分される。

(履修方法)

第5条 卒業に必要な専門教育科目の履修方法は、履修課程表2に掲げる授業科目のうちから、次に示す単位を指導教員の指導を受けて履修しなければならない。

科目区分等			単位数	
専門教育科目	専門基礎科目	必修科目	16	
		選択必修科目	6	
	専門科目	必修科目	23	
		コース科目	選択必修科目	18
			自由選択科目	30
合計			93	

2 専門基礎科目選択必修科目のうち卒業に必要な単位を超えて修得した単位数は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。

3 コース科目選択必修科目のうち卒業に必要な単位を超えて修得した単位数は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。

(コース分属のための履修条件)

第6条 本学部では、2年次開始時に所定のコースに分属するが、コースに分属できる者は、1年次修了時において教養教育科目のうち知的理解（現代と生命）及び知的理解（現代と自然）の区分から合計3単位以上、言語（英語）を2単位以上修得している者とする。

(卒業論文)

第7条 卒業論文を履修できる者は、3年次修了時まで卒業に必要な単位124単位中92単位以上修得している者とする。

(食品衛生資格取得コース)

第8条 本学部に衛生管理者等の資格取得のため、厚生労働大臣の指定する養成施設として食品衛生資格取得コースを置く。

- 2 食品衛生資格取得コースを修了した者は、衛生管理者等になることができる。
- 3 食品衛生資格取得コースを履修できる者は、本学部総合農業科学科の学生とする。
- 4 食品衛生資格取得コースの履修科目は、別表のとおりとする。(※別表は28～29ページに掲載している。)
- 5 別表に規定する所定の単位を修得した者は、食品衛生資格取得コースの修了者とする。
- 6 この細則に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

附 則

- 1 この細則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学者については、改正後の履修課程表2に表記された開講年次、開講学期及び本学部からグローバル・ディスカバリー・プログラムに提供する科目に関するものを除き、なお従前の例による。

4. 履修課程表

1. 教養教育科目（履修課程表1）

科目区分		必修	備考	卒業要件単位	
導入教育	ガイダンス	学部ガイダンス科目	2単位	総合農業科学入門 2単位	3単位
		全学ガイダンス科目	1単位	岡山大学入門講座・キャリア形成基礎講座 各0.5単位	
	補習教育	高大接続科目		卒業要件単位外	
知的理解	現代と社会	人文・社会科学系科目	2単位	3つの知的理解のグループから、それぞれ2単位以上を修得すること。	28単位
	現代と生命	生命科学系科目	2単位		
	現代と自然	自然科学系科目	2単位		
実践知・感性	実践知	実践・社会連携系科目			
	芸術知	芸術系科目			
汎用的技能と健康	情報教育	情報リテラシー系科目	1単位	情報処理入門1（情報機器の操作を含む） 1単位	
		ICT(Information & Communication Technology)系科目			
	キャリア教育	キャリア教育・学生支援系科目			
	健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学		4単位まで卒業要件算入可能	
		スポーツ演習(する・みる・支える)			
アカデミック・ライティング	アカデミック・ライティング科目				
言語	英語	英語（スピーキング）－1, 2	1単位	各0.5単位	
		英語（リーディング）－1, 2	1単位		
		英語（ライティング）－1, 2	1単位		
		英語（リスニング）－1, 2	1単位	各1単位	
		英語（S & L）－1, 2	2単位		
		英語（R & W）－1, 2	2単位		
		プレ上級英語			
	上級英語				
	英語特別演習1, 2				
	初外国語	ドイツ語	4単位	4単位選択必修	
		フランス語			
		中国語			
		韓国語			
		ロシア語			
		スペイン語			
イタリア語					
日本語	応用日本語		留学生のみ		
高年次教養	高年次教養教育科目※	1単位	日本農業論1及び日本農業論2を両方履修することが望ましい。 各1単位		
教養教育科目 計				31単位	

※ 高年次教養教育科目は、3年次以降の履修となる。なお、他学部開講の高年次教養教育科目は卒業要件単位に含めない。

2. 専門教育科目（履修課程表2）

a. 専門基礎科目

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	備考
1	1	116000	農学概論1	1	神崎ほか	全科目必修
1	2	116001	農学概論2	1	神崎ほか	
1	1	116002	農生命化学1	1	稲垣	
1	2	116003	農生命化学2	1	清田	
1	1	116004	農業生物学1	1	西野ほか	
1	2	116005	農業生物学2	1	加藤ほか	
1	1	116006	農業資源学1	1	横溝	
1	2	116007	農業資源学2	1	横溝	
1	3	116008	農芸化学コース概論1	1	コース教員	
1	4	116009	農芸化学コース概論2	1	コース教員	
1	3	116010	応用植物科学コース概論1	1	コース教員	
1	4	116011	応用植物科学コース概論2	1	コース教員	
1	3	116012	応用動物科学コース概論1	1	コース教員	
1	4	116013	応用動物科学コース概論2	1	コース教員	
1	3	116014	環境生態学コース概論1	1	コース教員	
1	4	116015	環境生態学コース概論2	1	コース教員	
1	1	116100	基礎微生物学1	1	上村	4科目 選択必修
1	2	116101	基礎微生物学2	1	上村	
1	3	116102	基礎遺伝学1	1	国枝・加藤・西田	
1	4	116103	基礎遺伝学2	1	国枝・加藤・西田	
1	3	116104	基礎分子生物学1	1	牛島	
1	4	116105	基礎分子生物学2	1	牛島	
1	1	116106	生態学概論1	1	坂本（圭）	
1	2	116107	生態学概論2	1	宮竹	
2	1～2	115104	基礎生物学実験	2	担当教員	1科目 選択必修
2	1～2	115105	フィールド基礎実習	2	担当教員	
2	3～4	115106	基礎分析化学実験	2	担当教員	
1	夏季集中	115600	農場体験実習	1	F S C	卒業要件外

b. 専門科目（必修科目）

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	備考
2	1～2	116200	コース演習1	0.5	コース教員	
2	3～4	116201	コース演習2	0.5	コース教員	
3	1～2	116202	コース演習3	1	コース教員	
3	3～4	116203	コース演習4	1	コース教員	
4	1～2	116204	研究科目演習1	1	担当教員	
4	3～4	116205	研究科目演習2	1	担当教員	
4	1～4	116206	卒業論文	18	担当教員	

c. 専門科目（コース科目）

（○は各コースにおける選択必修科目，それ以外は自由選択科目）

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	提示コース等	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学	環境生態学
1	3	116302	植物生理学1	1	平山ほか	応用植物科学		○		
1	4	116303	植物生理学2	1	平山ほか	応用植物科学		○		
1	3	116304	植物形態学	1	松島ほか	応用植物科学		○		
1	4	116305	植物栄養学	1	馬・山地	応用植物科学		○		
1	3	116306	栄養生化学1	1	森田	応用動物科学			○	
1	4	116307	栄養生化学2	1	鶴田	応用動物科学			○	
1	夏季集中	115429	まきばの実習	1	西野ほか	応用動物科学			○	
2	1	116300	植物遺伝学1	1	門田(有)	応用植物科学		○		
2	2	116301	植物遺伝学2	1	門田(有)・西田	応用植物科学		○		
2	1	116308	分析化学1	1	田村	農芸化学	○		○	
2	2	116309	分析化学2	1	田村	農芸化学	○		○	
2	1	116310	生物化学1-1	1	木村(吉)	農芸化学	○		○	
2	2	116311	生物化学1-2	1	木村(吉)	農芸化学	○		○	
2	1	116312	有機化学1-1	1	清田	農芸化学	○		○	
2	2	116313	有機化学1-2	1	清田	農芸化学	○		○	
2	1	116314	応用微生物学1-1	1	稲垣	農芸化学	○		○	
2	2	116315	応用微生物学1-2	1	稲垣	農芸化学	○		○	
2	1	116316	植物病理学1	1	豊田	応用植物科学		○		
2	2	116317	植物病理学2	1	豊田	応用植物科学		○		
2	1	116318	果樹園芸学1	1	平野	応用植物科学		○		
2	2	116319	果樹園芸学2	1	平野	応用植物科学		○		
2	1	116320	栽培学1	1	齊藤(邦)	応用植物科学		○		
2	2	116321	栽培学2	1	齊藤(邦)	応用植物科学		○		
2	1	116322	農産物生理学1	1	久保	応用植物科学		○		
2	2	116323	農産物生理学2	1	久保	応用植物科学		○		
2	1	116324	動物細胞科学1	1	舟橋・畑生	応用動物科学			○	
2	2	116325	動物細胞科学2	1	舟橋・畑生	応用動物科学			○	
2	1	116326	動物組織・形態学1	1	齋藤(昇)	応用動物科学			○	
2	2	116327	動物組織・形態学2	1	齋藤(昇)	応用動物科学			○	
2	1	116330	動物生理学1	1	齋藤(昇)	応用動物科学			○	
2	2	116331	動物生理学2	1	齋藤(昇)	応用動物科学			○	
2	1	116332	農業経営学1	1	大仲	環境生態学				○
2	2	116333	農業経営学2	1	大仲	環境生態学				○
2	1	116334	農業ロボット工学概論1	1	門田(充)	環境生態学				○
2	2	116335	農業ロボット工学概論2	1	門田(充)	環境生態学				○
2	1	116336	地域環境管理学	1	嶋	環境生態学				○
2	2	116337	生物多様性保全学	1	福田(宏)	環境生態学				○
2	1	116338	動物生態学1	1	宮竹	環境生態学				○

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	提示コース等	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学	環境生態学
2	2	116339	動物生態学2	1	高橋	環境生態学				○
2	1	116340	樹木生理生態学1	1	三木	環境生態学				○
2	2	116341	森林保全学1	1	廣部	環境生態学				○
2	夏季集中	115320	農家体験実習	2	吉田(集中)	FSC		○	○	○
2・3	夏季集中	115321	農業気象学	2	非常勤(隔年集中)	環境生態学(2020)				○
2	3	116342	生物化学2-1	1	村田	農芸化学	○		○	
2	4	116343	生物化学2-2	1	村田	農芸化学	○		○	
2	3	116344	有機化学2-1	1	清田	農芸化学	○		○	
2	4	116345	有機化学2-2	1	清田	農芸化学	○		○	
2	3	116346	応用微生物学2-1	1	田村	農芸化学	○		○	
2	4	116347	応用微生物学2-2	1	田村	農芸化学	○		○	
2	3	116348	遺伝子工学1	1	一瀬	応用植物科学		○		
2	4	116349	遺伝子工学2	1	能年	応用植物科学		○		
2	3	116350	植物育種学1	1	加藤	応用植物科学		○		
2	4	116351	植物育種学2	1	加藤	応用植物科学		○		
2	3	116352	花卉園芸学1	1	後藤	応用植物科学		○		
2	4	116353	花卉園芸学2	1	後藤	応用植物科学		○		
2	3	116354	果樹生産管理学1	1	福田(文)	応用植物科学		○		
2	4	116355	果樹生産管理学2	1	福田(文)	応用植物科学		○		
2	3	116356	作物学1	1	平井	応用植物科学		○		
2	4	116357	作物学2	1	平井	応用植物科学		○		
2	3	116358	野菜園芸学1	1	安場・吉田	応用植物科学		○		
2	4	116359	野菜園芸学2	1	安場・吉田	応用植物科学		○		
2・3	集中	116360	農産食品工学	1.5	非常勤(隔年集中)	応用植物科学(2020)		○		
2	3	116361	動物生理学3	1	畑生	応用動物科学			○	
2	3	116362	動物遺伝学1	1	担当教員	応用動物科学			○	
2	4	116363	動物遺伝学2	1	担当教員	応用動物科学			○	
2	3	116364	動物育種学1	1	揖斐	応用動物科学			○	
2	4	116365	動物育種学2	1	揖斐	応用動物科学			○	
2	3	116366	動物生殖生理学1	1	木村(康)	応用動物科学			○	
2	4	116367	動物生殖生理学2	1	木村(康)	応用動物科学			○	
2	3	116368	動物応用微生物学1	1	森田	応用動物科学			○	
2	4	116369	動物応用微生物学2	1	森田	応用動物科学			○	
2	3	116372	動物栄養学1	1	西野	応用動物科学			○	
2	4	116373	動物栄養学2	1	西野	応用動物科学			○	
2	3	116374	生物生産機械学1	1	難波	環境生態学				○
2	4	116375	生物生産機械学2	1	難波	環境生態学				○
2	3	116376	農業経済学1	1	駄田井	環境生態学				○

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	提示コース等	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学	環境生態学
2	4	116377	農業経済学2	1	駄田井	環境生態学				○
2	3	116378	土壌環境学	1	嶋	環境生態学		○		○
2	4	116379	緑地保全学	1	坂本(圭)	環境生態学				○
2	3	116380	農環境物理学1	1	難波	環境生態学				○
2	4	116381	農環境物理学2	1	難波	環境生態学				○
2	3	116382	環境生態学コース実験1-1	1	コース教員	環境生態学				○
2	4	116383	環境生態学コース実験1-2	1	コース教員	環境生態学				○
2	3	116384	環境生態学コース実験2-1	1	コース教員	環境生態学				○
2	4	116385	環境生態学コース実験2-2	1	コース教員	環境生態学				○
2	3~4	116522	フィールド実習1	2	吉田ほか	FSC		○		
2	3	116520	応用生物統計学1	1	揖斐・門田(有)	共通	○	○	○	○
2	4	116521	応用生物統計学2	1	揖斐・門田(有)	共通	○	○	○	○
2	3	116531	Vegetable and Flower Science (野菜と花の科学)	1	後藤ほか	応用植物科学				
2	3	116532	Plant Disease and Control (植物の病気と防除)	1	豊田ほか	応用植物科学				
2	3	116533	Fruit Science (果実の科学)	1	久保ほか	応用植物科学				
2	3	116534	Crop Science and Production (作物の科学と生産)	1	平井ほか	応用植物科学				
2	3	116535	Animal Production Science (動物生産科学)	1	齋藤(昇)ほか	応用動物科学				
2	4	116536	Food and Nutrition Science (食品・栄養科学)	1	森田ほか	応用動物科学				
3	1	116390	生物化学3-1	1	守屋	農芸化学	○		○	
3	2	116391	生物化学3-2	1	守屋	農芸化学	○		○	
3	1	116392	有機化学3-1	1	泉	農芸化学	○			
3	2	116393	有機化学3-2	1	泉	農芸化学	○			
3	1	116394	応用微生物学3-1	1	金尾	農芸化学	○			
3	2	116395	応用微生物学3-2	1	金尾	農芸化学	○			
3	1	116396	生物物理化学1	1	田村・村田	農芸化学	○		○	
3	2	116397	生物物理化学2	1	田村・村田	農芸化学	○		○	
3	1	116398	酵素化学1	1	前田	農芸化学	○			
3	2	116399	酵素化学2	1	前田	農芸化学	○			
3	1	116400	食品生化学1	1	中村(宜)	農芸化学	○		○	
3	2	116401	食品生化学2	1	中村(宜)	農芸化学	○		○	
3	1	116328	畜産食品学1	1	荒川	応用動物科学			○	
3	2	116329	畜産食品学2	1	荒川	応用動物科学			○	

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	提示コース等	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学	環境生態学
3	1~4	116402	農芸化学コース実験1	2	コース教員	農芸化学	○			
3	1~4	116403	農芸化学コース実験2	2	コース教員	農芸化学	○			
3	1~4	116404	農芸化学コース実験3	2	コース教員	農芸化学	○			
3・4	夏季集中	116405	応用分子生物学	0.5	非常勤(隔年集中)	農芸化学(2022)	○			
3・4	夏季集中	116406	有用物質生産技術学	0.5	非常勤(隔年集中)	農芸化学(2021)	○			
3	1	116407	植物細菌病学	1	一瀬	応用植物科学		○		
3	2	116408	植物免疫学	1	能年	応用植物科学		○		
3	1	116409	作物発育調節学1	1	平井	応用植物科学		○		
3	2	116410	作物発育調節学2	1	齊藤(邦)	応用植物科学		○		
3	1~2	116524	応用植物科学コース実験1	2	コース教員	応用植物科学		○		
3	1~2	116525	応用植物科学コース実験2	2	コース教員	応用植物科学		○		
3・4	夏季集中	116415	バイオインフォマティクス入門	1.5	非常勤(隔年集中)	応用植物科学(2022)		○		
3・4	1(隔年)	116418	植物遺伝生理学	1	坂本(亘)(隔年開講)	応用植物科学(2022)		○		
3	1	116419	実験動物科学1	1	辻	応用動物科学			○	
3	2	116420	実験動物科学2	1	辻	応用動物科学			○	
3	1	116421	動物内分泌学1	1	木村(康)	応用動物科学			○	
3	2	116422	動物内分泌学2	1	木村(康)	応用動物科学			○	
3	1	116423	動物発生工学1	1	若井	応用動物科学			○	
3	2	116424	動物発生工学2	1	若井	応用動物科学			○	
3	1	116370	動物生産管理学1	1	西野	応用動物科学			○	
3	2	116371	動物生産管理学2	1	西野	応用動物科学			○	
3	1	116425	食品栄養学1	1	鶴田	応用動物科学			○	
3	2	116426	食品栄養学2	1	鶴田	応用動物科学			○	
3	1	116427	応用動物科学コース実験1-1	1	コース教員	応用動物科学			○	
3	2	116428	応用動物科学コース実験1-2	1	コース教員	応用動物科学			○	
3	1	116429	応用動物科学コース実験2-1	1	コース教員	応用動物科学			○	
3	2	116430	応用動物科学コース実験2-2	1	コース教員	応用動物科学			○	
3	1	116431	応用動物科学コース実験3-1	1	コース教員	応用動物科学			○	
3	2	116432	応用動物科学コース実験3-2	1	コース教員	応用動物科学			○	
3	2	116416	植物ゲノムダイナミクス	1	山本(敏)ほか	応用植物科学		○		
3	1	116417	植物ウイルス学	1	鈴木・近藤	応用植物科学		○		
3・4	1(隔年)	116433	公衆衛生学1	1	三好(隔年)	応用動物科学(2021)			○	
3・4	2(隔年)	116434	公衆衛生学2	1	三好(隔年)	応用動物科学(2021)			○	
3・4	夏季集中	116435	家畜伝染病学(家畜疾病学)	1.5	非常勤(隔年集中)	応用動物科学(2021)			○	
3・4	夏季集中	116436	食品衛生学	1.5	非常勤(隔年集中)	応用動物科学(2021)			○	
3	1	116437	資源管理学1	1	担当教員	環境生態学				○
3	2	116438	資源管理学2	1	担当教員	環境生態学				○
3	1	116439	食料情報学1	1	大仲	環境生態学				○

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	提示コース等	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学	環境生態学
3	2	116440	食料情報学2	1	大仲	環境生態学				○
3	1	116441	応用力学1	1	門田(充)	環境生態学				○
3	2	116442	応用力学2	1	門田(充)	環境生態学				○
3	1	116445	森林保全学2	1	廣部	環境生態学				○
3	1	116446	環境生態学コース実験3-1	1	コース教員	環境生態学				○
3	2	116447	環境生態学コース実験3-2	1	コース教員	環境生態学				○
3	1	116448	環境生態学コース実験4-1	1	コース教員	環境生態学				○
3	2	116449	環境生態学コース実験4-2	1	コース教員	環境生態学				○
3	1	116537	Animal Life Science (動物生命科学)	1	畑生ほか	応用動物科学				
3	2	116538	Crop Genetics and Breeding (作物の遺伝と育種)	1	加藤ほか	応用植物科学				
3	1~2	116523	フィールド実習2	2	福田(文)ほか	FSC		○		
3	夏季集中	115376	牧場実習	2	木村(康)ほか(集中)	FSC			○	
3	夏季集中	115379	インターンシップ	2	担当教員	共通				
3	夏季集中	115607	農業協同組合論	1	大仲	環境生態学				○
3・4	夏季集中	116450	林学概論	1.5	非常勤(隔年集中)	環境生態学(2021)				○
3・4	夏季集中	116451	農業生産施設学	1.5	非常勤(隔年集中)	環境生態学(2022)				○
3・4	夏季集中	116452	農村社会学	1	非常勤(隔年集中)	環境生態学(2021)				○
3	3	116455	生物有機化学1	1	泉	農芸化学	○			
3	4	116456	生物有機化学2	1	泉	農芸化学	○			
3	3	116457	食品化学1	1	中村(宜)	農芸化学	○		○	
3	4	116458	食品化学2	1	中村(宜)	農芸化学	○		○	
3	3	116459	生理活性物質化学1	1	仁戸田	農芸化学	○		○	
3	4	116460	生理活性物質化学2	1	仁戸田	農芸化学	○		○	
3	3	116461	細胞生化学1	1	木村(吉)	農芸化学	○			
3	4	116462	細胞生化学2	1	木村(吉)	農芸化学	○			
3	3	116463	環境微生物学1	1	金尾	農芸化学	○			
3	4	116464	環境微生物学2	1	金尾	農芸化学	○			
3	3	116465	植物保護学1	1	山本(幹)	応用植物科学		○		
3	4	116466	植物保護学2	1	山本(幹)	応用植物科学		○		
3	3	116467	農産物利用学1	1	担当教員	応用植物科学		○		
3	4	116468	農産物利用学2	1	担当教員	応用植物科学		○		
3	3	116469	施設園芸学1	1	安場・吉田	応用植物科学		○		
3	4	116470	施設園芸学2	1	安場・吉田	応用植物科学		○		
3	3~4	116526	応用植物科学コース実験3	2	コース教員	応用植物科学		○		
3	3	116473	基礎昆虫学	1	高橋	環境生態学				○
3	3	116474	樹木生理生態学2	1	三木	環境生態学				○

開講年次	開講学期	講義番号	授業科目名	単位	教員名	提示コース等	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学	環境生態学
3	3	116492	農業政策論1	1	大仲	環境生態学		○		○
3	4	116493	農業政策論2	1	大仲	環境生態学		○		○
3	3	116479	機械製図演習1	0.5	門田(充)	環境生態学				○
3	4	116480	機械製図演習2	0.5	門田(充)	環境生態学				○
3	4	116481	水系保全生物学	1	福田(宏)	環境生態学				○
3・4	集中	116482	昆虫科学	1.5	非常勤(隔年集中)	環境生態学(2021)				○
4	1	116483	有機構造解析学1	1	仁戸田	農芸化学	○			
4	2	116484	有機構造解析学2	1	仁戸田	農芸化学	○			
4	1	116485	生体高分子解析学1	1	田村ほか	農芸化学	○			
4	2	116486	生体高分子解析学2	1	田村ほか	農芸化学	○			
1	夏季集中	115501	里山フィールド演習	2	鳥取大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115502	果樹園芸の里フィールド演習	2	愛媛大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115503	里海フィールド演習	2	広島大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115512	森林フィールド演習	2	高知大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115515	森・里・海フィールド演習	2	島根大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115516	酪農フィールド科学演習	2	広島大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115518	作物生産科学フィールド演習	2	山口大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115519	臨海資源科学演習	2	広島大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115523	食品資源フィールド科学実習	1	県立広島大学開講科目	他大学単位互換				
1	夏季集中	115532	傾斜地フィールド演習	2	香川大学開講科目	他大学単位互換				
2	1	116487	職業指導概説1-1	1	非常勤	共通(教職科目)				
2	2	116488	職業指導概説1-2	1	非常勤	共通(教職科目)				
2	3	116489	職業指導概説2-1	1	非常勤	共通(教職科目)				
2	4	116490	職業指導概説2-2	1	非常勤	共通(教職科目)				
2	夏季集中	115524	生殖補助医療学	2	大月ほか	生殖補助医療技術キャリア養成特別コース				
3	通年集中	115527	生殖補助医療技術実習Ⅰ	2	担当教員	生殖補助医療技術キャリア養成特別コース				
4	夏季集中	115528	生殖補助医療技術実習Ⅱ	1	担当教員	生殖補助医療技術キャリア養成特別コース				
4	夏季集中	115529	生殖補助医療技術実習Ⅲ	2	担当教員	生殖補助医療技術キャリア養成特別コース				

[付記1] 「コース演習2」は農芸化学英語、応用植物科学英語、応用動物科学英語、環境生態学英語を含む。

[付記2] 農芸化学コース実験1～3はそれぞれ以下の内容を含む。

- 1：物理化学実験・有機化学実験・天然物分析化学実験
- 2：生物化学実験・食品化学実験・分析化学実験
- 3：応用微生物学実験・酵素化学実験・遺伝子化学実験

[付記3] 応用植物科学コース実験1～3は以下の内容を含む。

- 植物繁殖学実験・植物形態学実験・植物成分分析実験
植物病理学実験・遺伝子工学実験・酵素学実験
植物生理学実験・植物機能学実験・植物遺伝学実験

[注] ① 開講学期は、都合により、変更する場合がある。

なお、開講年次欄の2・3年次、3・4年次とあるものは隔年開講を示している。

また、開講学期欄の1～2、3～4、1～4は複数学期で続けての開講を示している。

- ② 提示コース欄のFSCは、山陽圏フィールド科学センターを、(2020)、(2021)は開講年度を示している。
- ③ 他大学との単位互換科目として以下の科目を夏季休業中に履修できる。各科目の概要、履修要件、実施時期等詳細は別途掲示するので希望者は各自注意すること。
- | | | |
|----------------|--------|-----|
| ・里山フィールド演習 | 鳥取大学 | 2単位 |
| ・果樹園芸の里フィールド演習 | 愛媛大学 | 2単位 |
| ・里海フィールド演習 | 広島大学 | 2単位 |
| ・森林フィールド演習 | 高知大学 | 2単位 |
| ・森・里・海フィールド演習 | 島根大学 | 2単位 |
| ・酪農フィールド科学演習 | 広島大学 | 2単位 |
| ・作物生産科学フィールド演習 | 山口大学 | 2単位 |
| ・臨海資源科学演習 | 広島大学 | 2単位 |
| ・食品資源フィールド科学実習 | 県立広島大学 | 1単位 |
| ・傾斜地フィールド演習 | 香川大学 | 2単位 |
- ④ インターンシップは、在学中に就業体験（現場体験）を行うことにより、単位を認定する科目である。受講希望者は掲示に注意すること。
- ⑤ 職業指導概説1-1、職業指導概説1-2、職業指導概説2-1、職業指導概説2-2は、卒業要件単位には含まれない。
- ⑥ 農学部からグローバル・ディスカバリー・プログラムに提供する以下の科目について、農学部正規生は2年次3学期から履修することができる。ただし、各科目開講前に、TOEIC若しくはTOEIC L&Rで600点以上のスコア、またはそれらに相当するGTEC Academic 2技能若しくはGTEC Academic 4技能のスコアを修得済みでなければ履修することができない。履修前にスコアシートの写を農学部教務学生担当窓口まで提出すること。（GTECのスコア換算については、農学部教務学生担当窓口にお問い合わせのこと。）
- ・Vegetable and Flower Science（野菜と花の科学）
 - ・Plant Disease and Control（植物の病気と防除）
 - ・Fruit Science（果実の科学）
 - ・Crop Science and Production（作物の科学と生産）
 - ・Animal Production Science（動物生産科学）
 - ・Food and Nutrition Science（食品・栄養科学）
 - ・Animal Life Science（動物生命科学）
 - ・Crop Genetics and Breeding（作物の遺伝と育種）
- ⑦ 履修課程表の規程にかかわらず、開講されない授業科目がある場合には、開講学期の開始までに公示する。

5. 履修についての説明

1 履修方法と卒業所要単位

(1) 教養教育科目

1年次から4年次にかけて履修課程表1に掲げる教養教育科目を以下に定める様に履修し修得する。

(イ) 知的理解科目

- ・「現代と社会」「現代と生命」「現代と自然」の3つのグループの各グループからそれぞれ2単位以上、計6単位以上選択必修とする。

但し、知的理解、言語、実践知・感性、汎用的技能と健康、高年次教養と併せて28単位を選択必修とする。

(ロ) 言語科目

- ・英語（スピーキング）－1，英語（スピーキング）－2

英語（リーディング）－1，英語（リーディング）－2

英語（ライティング）－1，英語（ライティング）－2

英語（リスニング）－1，英語（リスニング）－2

英語（S & L）－1，英語（S & L）－2

英語（R & W）－1，英語（R & W）－2を必修とする。

- ・プレ上級英語，上級英語，英語特別演習1，英語特別演習2，初修外国語（ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語，ロシア語，スペイン語，イタリア語）から4単位選択必修とする。外国人留学生は日本語から4単位選択必修とする。
- ・別表「外部検定試験による単位認定基準」に掲げる外国語科目については，外部検定試験の結果により単位を認定することができる。単位の認定を希望する者は，教務学生担当で指示を受けること。

(ハ) 高年次教養科目

- ・高年次教養教育科目を1単位選択必修とする。

(ニ) 汎用的技能と健康科目

- ・情報教育として情報処理入門1（1単位）を必修とする。

(ホ) 導入教育科目

- ・学部ガイダンス科目として総合農業科学入門（2単位）を必修とする。

- ・全学ガイダンス科目として岡山大学入門講座及びキャリア形成基礎講座（各0.5単位）を必修とする。

外部検定試験による単位認定基準

外国語の種類別	単位認定の対象とする外部検定試験	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限
英 語	TOEIC 又は TOEIC IP	850点以上	英語(スピーキング) - 1 英語(スピーキング) - 2	5 単位まで
	----- 実用英語技能検定 (英検)	1 級	英語(リーディング) - 1 英語(リーディング) - 2	
	----- 国際連合公用語英語検定試験 (国連英検)	A 級	英語(ライティング) - 1 英語(ライティング) - 2	
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	576点以上	英語(リスニング) - 1 英語(リスニング) - 2	
	----- TOEFL iBT	82点以上	英語(総合) - 1 英語(総合) - 2	
	----- IELTS	6.5点以上	英語(S & L) - 1 英語(S & L) - 2	
	----- GTEC Academic 4 技能	678点以上	英語(R & W) - 1 英語(R & W) - 2	
	----- GTEC Academic 2 技能	349点以上		
	----- TOEIC 又は TOEIC IP	800点以上	英語(総合) - 1 英語(総合) - 2	
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	554点以上	英語(S & L) - 1 英語(S & L) - 2	
	----- TOEFL iBT	75点以上	英語(R & W) - 1 英語(R & W) - 2	
	----- IELTS	6.0点以上		
	----- GTEC Academic 4 技能	646点以上		
	----- GTEC Academic 2 技能	331点以上		
	----- TOEIC 又は TOEIC IP	750点以上	英語(総合) - 1 英語(総合) - 2	2 単位まで
	----- 実用英語技能検定 (英検)	準 1 級	英語(S & L) - 1 英語(S & L) - 2	
	----- 国際連合公用語英語検定試験 (国連英検)	B 級	英語(R & W) - 1 英語(R & W) - 2	
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	532点以上		
----- TOEFL iBT	68点以上			
----- GTEC Academic 4 技能	613点以上			
----- GTEC Academic 2 技能	313点以上			
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	3 級以上	ドイツ語初級 I - 1 ドイツ語初級 I - 2 ドイツ語初級 II - 1 ドイツ語初級 II - 2 ドイツ語中級	4 単位まで
		4 級	ドイツ語初級 I - 1 ドイツ語初級 I - 2 ドイツ語初級 II - 1 ドイツ語初級 II - 2	2 単位まで
		5 級	ドイツ語初級 I - 1 ドイツ語初級 I - 2	1 単位まで
フ ラ ンス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	3 級以上	フランス語初級 I - 1 フランス語初級 I - 2 フランス語初級 II - 1 フランス語初級 II - 2 フランス語中級	4 単位まで
		4 級	フランス語初級 I - 1 フランス語初級 I - 2 フランス語初級 II - 1 フランス語初級 II - 2	2 単位まで
		5 級	フランス語初級 I - 1 フランス語初級 I - 2	1 単位まで

中国語	漢語水平考試（HSK） （筆記試験のみ） ※5級・6級については、180点以上のスコアを獲得した場合、単位認定の対象とする。	3級以上	中国語初級Ⅰ-1 中国語初級Ⅰ-2 中国語初級Ⅱ-1 中国語初級Ⅱ-2 中国語中級	4単位まで
		2級	中国語初級Ⅰ-1 中国語初級Ⅰ-2 中国語初級Ⅱ-1 中国語初級Ⅱ-2	2単位まで
		1級	中国語初級Ⅰ-1 中国語初級Ⅰ-2	1単位まで
韓国語	韓国語能力試験	2級以上	韓国語初級Ⅰ-1 韓国語初級Ⅰ-2 韓国語初級Ⅱ-1 韓国語初級Ⅱ-2 韓国語中級	4単位まで
		1級	韓国語初級Ⅰ-1 韓国語初級Ⅰ-2 韓国語初級Ⅱ-1 韓国語初級Ⅱ-2	2単位まで
スペイン語	スペイン語技能検定	4級以上	スペイン語ベーシック1~4 スペイン語ステップアップ	4単位まで
		5級	スペイン語ベーシック1~4	2単位まで
		6級	スペイン語ベーシック1及び2	1単位まで
イタリア語	実用イタリア語検定	3級以上	イタリア語ベーシック1~4 イタリア語ステップアップ	4単位まで
		4級	イタリア語ベーシック1~4	2単位まで
		5級	イタリア語ベーシック1及び2	1単位まで

備考 1 英語の認定は原則として、同一科目の「-1」と「-2」に対して行うこと。やむを得ず「-1」と「-2」の片方のみ認定する場合は、「-2」を認定する。「-1」のみの認定は、学生が「-2」をすでに履修している場合にのみ行って良いものとする。

2 「GTEC Academic 4技能」のスコアのうち、2技能のみを用いて、「GTEC Academic 2技能」の単位認定の対象とすることはできない。

(2) 専門教育科目

1年次生は、農業科学の全容を概括的に把握するための専門基礎科目を履修する。更に2年次、3年次と逐次より専門的な科目を履修することになるが、指導教員との相談のもとに個々の学生に応じたカリキュラムが作成され、それに従って履修できるよう授業科目を開設している。

(イ) 専門基礎科目

- ・履修課程表2-aに掲げる専門基礎科目のうちから必修科目16単位を含め計22単位を履修する。
- ・卒業に必要な単位を越えて修得した単位数は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。

(ロ) 専門科目

① 必修科目

- ・履修課程表2-bに掲げる専門科目（必修科目）の23単位を必修とする。
- ・卒業論文は、3年次修了時までに卒業に必要な単位124単位中92単位以上修得している者が履修できる。

② コース科目

- ・コース科目選択必修科目は、履修課程表2-cに掲げる専門科目（コース科目）のうち、当該コースを専攻する学生が各コースで指定した授業科目（○印）のうちから18単位を選択必修とする。
- ・卒業に必要な単位を越えて修得した科目は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。
- ・コース科目自由選択科目は、履修課程表2-cに掲げる専門科目のうち、当該コースを専攻する学生が各講座で指定したコース科目選択必修科目以外の科目から30単位を選択するものとする。

(ハ) 成績の評価

- ・成績の評価は、A+（100点～90点）、A（89点～80点）、B（79点～70点）及びC（69点～60点）をもって合格とし、F（59点以下）を不合格とする。

(3) 卒業に必要な単位

卒業に必要な単位は、下記のとおりとする。

科目区分等			単位数	
教養教育科目	知的理解		28	
	言語			
	実践知・感性			
	汎用的技能と健康			
	高年次教養		3	
導 入 教 育			3	
計			31	
専門教育科目	専門基礎科目	必修科目	16	
		選択必修科目	6	
	専門科目	必修科目	23	
		コース科目	選択必修科目	18
			自由選択科目	30
計			93	
合 計			124	

2 農学部における成績評価基準

- (1) 成績評価は授業の教育目標に対する学習者の到達度を見るものであり、学習者が学習意欲を高め、評価に対する不公平感を持たないように、その目標と評価の方法を明確にしなければならない。
- (2) 評価は授業の途中でも行い、その結果をフィードバックさせることによって授業方法を改善しながら学習者の目標への到達度を高めるようにする。
- (3) 評価は授業の形態（講義、実験、実習、演習等）に対応して多面的で多様な方法によって行う。
講義は期末テストに偏重することなく、課題レポート、中間テスト、小テスト、出席状況などを評価の方法とする。実験、実習は出席状況、技術の修得度、受講態度、結果のとりまとめレポート、期末テスト、中間テスト、小テストなどを評価の方法とする。演習は出席状況、授業中の発言回数・内容、受講態度、課題の達成度などを評価の方法とする。
- (4) 授業の教育目標とその評価のために採用する具体的な評価方法は個々の授業についてのシラバスに明記する。
- (5) 農学部専門教育科目の成績評価についての異議申立手続については、本紙38ページ「14 成績評価に関する質問・疑問の受付について」を参照のこと。

3 分属について

学年を追って専門分野の理解を深めるために、2年次開始時に4つの教育コースのいずれかに分属する。さらに、各教育コースにおいて、以下の各学期開始時には卒業論文を履修する研究ユニットに分属する。

農芸化学コース : 4年次1学期

応用植物科学コース : 3年次1学期

応用動物科学コース : 3年次3学期

環境生態学コース : 3年次1学期

なお、教育コース、研究ユニットへの分属の決定は制度に則った指導による。

- (1) 分属学生数
教育コースおよび研究ユニット毎に、分属する学生の基準数を定める。
分属基準学生数の算出はそれぞれの所属教員数と総学生数を基礎とする。
- (2) 教育コース分属
教育コース分属の決定は指導によって行う。しかし、特定のコースで志望者がその基準数を超えたときには、適当な方法で選別を行う。全ての学生はいずれかのコースに分属するものとし、未分属は認めない。但し、入学年度に休学した学生は次年度入学生と共に分属を行う。
なお、教育コースに分属するためには、農学部履修細則第6条に示す履修条件を満たしていなければならない。履修条件を満たしていない学生は、次年度への進級ができないものとする。
- (3) 研究ユニットへの分属
研究ユニットへの分属の決定は教育コース内での指導による。なお、特別の事情がない限り、コース間での移動は認めない。
- (4) 選別の基準および方法
それぞれの段階で選別を行う場合、既履修の専門基礎科目、専門科目の学科必修科目、コース科目の成績のほか、面接などを採用し、原則として試験は行わない。
- (5) その他
4年次において、特別の事情がある場合には、他研究ユニットによる卒業論文指導が認められることがある。この場合、原則として所属研究ユニットは変わらない。

6. 履 修 手 続

(1) 履修登録について

学部から示される履修課程表及び時間割，シラバス等に基づいて，定められた期日までに履修しようとする授業科目を大学内のパソコンから履修登録をしなければならない。

履修の手続きについては，その都度掲示するので，掲示板に注意すること。

(2) 教育学部専門教育科目の履修

教育学部専門教育科目（教職免許科目）の履修については，その都度掲示するので，指定された期日までに手続きすること。

(3) 集中講義

集中講義の履修については，その都度掲示するので，指定された期日までに手続きすること。

7. 大学院への進学

農学部及び環境理工学部を基礎学部とする大学院として，岡山大学大学院環境生命科学研究科が設置されています。この大学院の専攻及び講座の内容については，それぞれの年度に発表される入学案内によること。

8. 諸資格および教育職員免許状の取得

(1) **危険物取扱者試験甲種受験資格**：危険物取扱者には甲種，乙種，丙種があり，その中で甲種は消防法に定められている全ての危険物の取扱いが可能な資格である。化学関連の授業科目を15単位以上修得した場合に受験資格がある。試験は各都道府県ごとに実施されている。岡山県の問い合わせ先は消防試験研究センター岡山県支部（086-227-1530）である。詳細については教務学生担当に問い合わせること。

(2) **食品衛生管理者・食品衛生監視員**：この資格を取得するためには，農学部履修細則（学生便覧10～11ページ）及び次ページ記載の「食品衛生資格取得コース履修科目表」をよく承知しておくこと。

① **食品衛生管理者**とは，当該の食品又は添加物の製造及び加工を衛生的に管理するための専門資格であり，当該の施設ごとに配置することが義務づけられている。

この資格は，卒業後に衛生管理を必要とする施設等に就職してから，当該の都道府県に申請することにより取得できる。

② **食品衛生監視員**とは，国，都道府県及び保健所を設置する市で，食品衛生に関する監視，指導等に従事する職員（国家及び地方公務員）のことである。詳細については国又は都道府県等の募集要項を参照されたい。